

リーディングDXスクール事業【実践事例】

京丹後市立久美浜中学校

【取組内容④】「ICTを活用した業務改善、生徒の安心安全を保障する取組」

◆概要◆

新型コロナウイルス感染症は、私たちに様々な試練を課し、どの学校においても危機に対応できる業務改善が喫緊の課題でありました。日々変化する状況の中で、急遽学校の方針を転換せざるを得ない日々…、健康観察や家庭連絡など…、まさに学校におけるICT導入があったからこそこれまで切り抜けてこれたのではないのでしょうか。

◆実践事例◆

本校では、当時から職員・保護者・生徒との緊急連絡体制を完備し、あらゆるケースにおいても対応できるマニュアルを完備するとともに、保護者欠席連絡アプリ、いじめやLGBTQに関することなどを含む、心因性の悩みも受け入れられる「心と身体のMorning check」の運用を開始。セーフティネットとしての機能ももたせました。

◆生徒の変容と成果◆

アフターコロナの全国的な課題は長期欠席生徒の増加。本校においても相変わらず最優先の課題となっています。子どもの悩みやSOSを多面的にキャッチして、未然防止、早期解決の手を打つことが求められています。相談窓口の複数常時開設、いじめアンケート、カウンセラー等の配置に併せて、ICTを駆使した様々な回線の開設こそ、**発達支持的生徒指導の出発点**だと思えます。

R5 久美浜中「心と身体のMorning check」

※画面をタップしてブラウザを開いてから始めてください。
(平日は8時30分まで、休日は9時までの入力完了をお願いします。)

1.学年 クラスを選択して下さい回答するのに必要です。
答えの選択

2.(〇年〇組)あなたの名前を選択してください。回答するのに必要です。
答えの選択

3.体調はどうですか？回答するのに必要です。
良い/普通
悪い

4.今の症状を選択してください(複数選択可)回答するのに必要です。
回答を入力してください

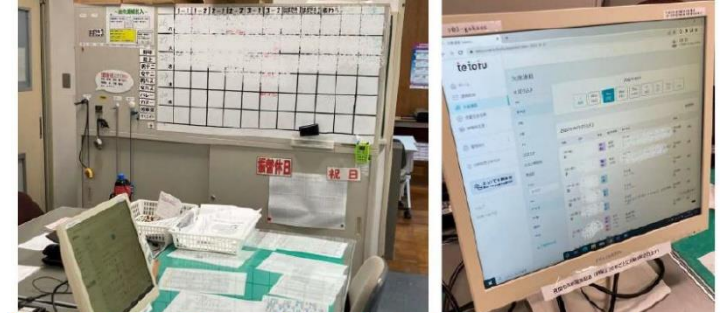
5.いじめについて心当たりや見たことがあれば教えてください。

6.困っていることや、悩んでいることはあれば記入して下さい。

7.面談(相談やカウンセリングなど)を受ける希望があれば記入して下さい。(例:友達関係、学習、性についての悩みなど)※担任の先生を窓口調整します。

アフターコロナでも継続している「心と身体のMorning check」朝学活開始までに各自が入力する

欠席連絡アプリにモニタを増設して全職員が確認できる状況にして情報共有



教員側 (ブラウザの管理画面を使用)	保護者側 (専用アプリを登録して使用)
【機能1】欠席連絡と確認機能	
◆教員用タブレットで欠席連絡等を確認	◆「保護者」から朝の連絡・遅刻・早退連絡を行う(それ以外の機能はなし) ◆コロナ関連の連絡内容に留意
【機能2】学校からの一斉送信機能	
◆緊急連絡の一斉送信や学校発出文書等の添付ファイル(画像・PDF等3Mまで)	◆通知機能のONにすれば通知が可能 ただし、現時点では学校側での既読確認

【要保存】

新型コロナウイルス感染症等に係る臨時休業時における対応チャート

対応レベル	説明	電話連絡	生徒用学習連絡用メール	PT連絡アプリへのメール送信	変更通知メール	HP掲載	保護者宛ての文書	Teams	Forms	ロケット	その他	対応レベル
レベル1	生徒への連絡(第1着) ※学校からの自席情報の表示 ※学校の連絡方法について 付録(原則非接触)	◎		Post in		○PW						対応レベル1 +PT +PTW +PTW +必要に応じて電話連絡 +保護
レベル2	保護者への連絡・配付物(原則非接触) 保護連絡・検出報告(アンケート送付) 保護連絡・自席(Teamsによる対応式) 生徒への配付物(検閲等を含む)		○			◎A	◎A	◎A				+PT +PTW +必要に応じて電話連絡 +保護
レベル3	課題等の回収											+必要に応じて電話連絡 +保護
レベル4	オンラインによる一斉指示(授業形式)											+必要に応じて電話連絡 +保護
その他												

発生フェーズにごとの教職員の対応と連絡方法について策定